

水と緑に恵まれ、自然豊かな

里地、里山に囲まれたいきいきしらやま

第19回

総 会



2019年4月20日（土）午後7時00分

越前市白山公民館 講堂

しらやま振興会

《総 会 次 第》

1 開 会

2 会長あいさつ

3 来賓祝辞・来賓紹介

4 総会成立宣言

5 議長選出

書記、議事録署名人指名

6 議 事

第1号議案

(1) 平成30年度事業報告について

(2) 平成30年度決算及び監査報告について

第2号議案

自治振興計画について

第3号議案

2019年度事業計画及び予算について

第4号議案

役員の承認について

7 議長退任

8 副会長あいさつ

9 閉 会

<概要>

- 平成30年度は27年度中に約半年間かけ、地区民の意見を集約した3カ年振興計画の最終年度でありました。振興計画策定に時間をかけたわりには、これまでの踏襲事業が多く、地区民には変わり映えしない事業計画とみられたかもしれません。しかし、各集落、団体から選出された振興委員の総意で作成され、総会において、承認された事業計画に基づく取り組みでありました。最終年度でしたが、各事業においては、総会と、振興計画策定過程の意見を把握している各部役員が苦勞して、工夫を凝らしていました。
- 市の要請のもと、28年度途中から、国の介護予防制度の大きな変更でもある住民主体の日常生活支援推進総合事業（地域支え合い推進事業）に取り組んでいます。介護予防・日常生活支援総合事業における訪問型住民サービスB型【サポートしらやま】が平成29年11月2日から電話当番を配置し、受付相談に応じ、11月末からサービスを開始しています。現在、この組織を支える支援員は22名登録されていますが、集落ごとの支援員が必要とされています。
- しらやま学童保育事業は4年が経過しましたが、小学校児童が減少する中でも学童保育児童数は伸び続けています。土曜保育も一昨年からは継続して行っています。地域の子供を地域の大人がお世話するという市内で、初めての取り組みでしたが、各方面からも注目されています。
- 福井県の委託事業であるコウノトリ飼育事業も日常の地道な取り組みですが、飼育員の努力もあり、コウノトリが継続して産卵を続け、昨年9月に3羽の放鳥も行われました。
- 地区人口減少率が越前市トップという深刻な状況を把握したこともあり、越前市特別事業「しらやま青年、大志を抱く事業」に取り組みました。

事業の成果としては、

- 青年グループと各関係団体が連携し、各事業を効率的に取り組むことができた。
- 夏祭りにおいては、青年グループが企画運営したブースを出店し、祭りを盛り上げた。
- 白山の見どころを若者の視点で整備修繕後、PR動画を作成することができた。
- 文化祭に青年グループがブースを設け、子供が楽しめる文化祭の一助となった。
- 30歳の成人式を開催し、しらやま地区の今後について語り合った。
- しらやま大使、しらやまファンクラブの交流研修会を大阪にて開催し、しらやま地区の課題を再発見した。

以上のようなことがあげられます。

別紙に越前市のコメントを添付します。

(審査委員からのコメント)

越市自第1630号
平成31年3月19日

しらやま振興会
会長 坂井 諭一 様

市民自治推進課長 見延 政和

平成30年度地域自治振興事業特別事業報告会における審査員からの
コメントの送付について

早春の候、貴殿におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素より、市政及び市民協働の推進につきまして、格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、先般開催いたしました地域自治振興事業特別事業報告会におきまして、審査員の方々からの事業に関するご意見をいただきましたので、今後の自治振興・協働事業にお役立ていただきますよう、下記のとおりお知らせいたします。

記

事業名	しらやま青年大志を抱く事業
審査員の意見	<ul style="list-style-type: none">・ 県外の人たちのファンクラブがすばらしいと思う。・ まとまりがあり、しっかりとした成果が得られている。 地区住民が地区の良さを上手に引き出しており評価できる。・ 若者が参加されているのはうれしい。白山大使を活用するのもすばらしい。・ 若者の集まりや取組みが今事業の一過性のものでなく継続した取組みとなるように期待する。・ ドローンの今後の利活用の拡充をお願いしたい。・ 発展性のある取組みである。もっとPRできないものか。

《問合せ先》

越前市 市民自治推進課 渡辺

TEL : 0778 - 22 - 3293

FAX : 0778 - 22 - 3264

- 当会が主導して発足した、エコグリーンツーリズム「水の里しらやま」は4年が経過し、歩みを大きく進展させています。29年度から30年度にわたり、福井県と越前市の支援を受け、福井ふるさと茶屋事業に取り組み、本年3月に完成し、6月からの本格営業に向け取り組んでいます。

H29

- 7月5日 福井県交付決定
- 9月30日 水の里臨時総会
- 10月1日 設計公募開始（10月20日締め切り）
- 10月20日 設計参加表明及び技術提案書提出（1社）
- 11月1日 業務委託契約締結

H30

- 3月16日 県完了検査
- 3月20日 設計業務完了
- 7月 県決定受け工事発注
- H31年3月9日 完成式典
- 2019年6月 本格営業開始

<各種会議>

【市自治連合会・事務局等会議】

5月19日	越前市自治連合会通常総会・第1回事務局長会議
6月28日	第2回事務局長会議及び意見交換会
8月27日	第3回事務局長会議
9月18日	第1回理事会
9月25日	自治振興計画に伴う専門部会
12月13日	理事会・理事研修会
2月5日	第4回事務局長会
3月1日	第3回理事会

【各種事務局会議】

4月21日	(第18回)しらやま振興会総会
5月8日	地域ミーティング
5月15日	三役会
5月17日	第1回運営委員会
6月20日	市自主防災組織リーダー養成研修会(案全防災部)
6月5日	各種団体代表者会議
9月8日	第2回運営委員会
11月21日	3ヶ年計画説明会

11月30日	歴代会長会
12月13日	中間監査
12月15日	第3回運営委員会
4月10日	監査
4月11日	第4回運営委員会
4月20日	(第19回) しらやま振興会総会

<各専門部報告>

【ふるさとふれあい部】

●太陽の広場さくら祭り 実施月日：2018年4月8日

昨年と同じようにレストハウスを中心に行い、安養寺こども園の園児の遊戯や歌謡ショーのステージと昨年同様、焼き鳥等の模擬店にもぎわいをみせました。今年は天候には恵まれませんでした、例年通り地区住民の方々を中心ににぎわいました。

●しらやま夏まつり 実施月日：2018年8月4日

白山地区最大のイベントである夏まつりは、実行委員会を中心に各種団体のご協力をいただき準備を行い、夏まつりを盛大に行うことが出来ました。昨年に引き続きスタッフで揃いのTシャツを着て、一層の一体感を得ることができました。バルーン、キッズダンスに始まり、今年は子ども広場を拡張しました。チーム対抗盆踊りは町内や団体から参加をいただき賑やかな盆踊りになりました。そして最後を締めくくる花くじ抽選会では、旅行券や今年流行りの炭酸水製造機などの豪華景品の獲得を目指して大勢の方にご参加いただき、盛り上がりました。

●さぎ草展 実施月日：2018年8月11日～14日

さぎ草王国の人達が丹精こめて育ててきたさぎ草の展示を行い、来場した方は可憐な花に満足して頂きました。五中生の作ったスイカにも舌鼓を打っていました。

●白山地区総合文化祭 実施月日：2018年10月28日

今年は「敬老会」「健康まつり」との合同開催となりました。芸能発表や歌謡ショーなど多くの出し物があったこともあり、皆様のご協力のおかげで多くの参加者がありました。

展示は例年同様にたくさんの方々のご協力により盛大のうちに終えました。特別展は「風景と生き物展」と題し白山地区在住の2名の方による作品展を鑑賞して頂きました。又、町内の方々や団体、サークルによる芸能発表を多くの方が鑑賞していました。さらに毎年恒例のうどんやカフェ、バザーも好評で盛況に終わる事ができました。

●金華山秋の収穫祭 実施月日：2018年11月11日

当日は天候にも恵まれ、開会式とともに地区内外からも多くの方にご来場いただき、持ち寄られた野菜なども盛況のうちに完売となりました。また、おろしそば、大鍋、おにぎり、焼き芋などには行列ができ、来場者の方々には里地里山の自然と食を堪能していただきました。恒例の「天城山ウォーク」も開催されました。

【活動経過】

月 日	活 動 内 容	参加人数
4月8日	桜まつり	400名

5月24日	四役会	5名
6月6日	部会	9名
6月14日	しらやま夏祭り 第1回実行委員会・各部会議	32名
6月21日	しらやま夏祭り 広報会議	6名
7月7日	しらやま夏祭り 広報会議	2名
7月8日	しらやま夏祭り 横断幕設置	3名
7月12日	しらやま夏祭り 第2回実行委員会・各部会議	24名
7月28日	しらやま夏祭り 提灯設置	145名
8月4日	しらやま夏祭り 準備	84名
8月4日	しらやま夏祭り	500名
8月5日	しらやま夏祭り 横断幕撤去	3名
8月11～14日	安養寺さぎ草展	200名
9月17日	部会	10名
9月19日	文化祭 第1回実行委員会	26名
10月3日	文化祭 芸能会議	10名
10月12日	文化祭 第2回実行委員会	32名
10月27日	文化祭準備	100名
10月28日	白山地区総合文化祭・敬老会・健康まつり	500名
11月11日	金華山グリーンランド秋の収穫祭	350名

【自然環境部】

しらやま地区里地里山の保全再生や自然景観の美化を最優先に、人も生物も元気が出る地域づくりを目指して活動してきました。

2019年しらやまカレンダーは「花 Hana」をテーマとして、自然溢れる地区のイメージをモチーフとして完成し、白山全戸と市役所、各公民館等に配布致しました。

●白山小学校・・・田植え&稲刈り

田植えは、五月晴れにも恵まれ、高学年5・6年生による昔ながらの手植えにて全員が泥紛れに奮闘しながら、楽しく体験することが出来ました。

また稲刈りにおいても、9月秋晴れの中 黄金色に実った稲を鎌を片手に慣れない手作業による収穫を行いました。後の収穫祭も実施されました。

●花いっぱい運動

福井国体開催に合わせ、プランターに花植え～各町内に配布し、福井国体を盛り上げました。

●彼岸花球根植え

河川敷き(二階堂付近)に毎年彼岸花球根を植えており、今年は約100m延長して実施してきました。

●不法投棄パトロール

自然豊かなしらやま地区にも、この課題は多数の町内にありました。今後も毎年この活動を実施し、少しでも不法投棄がなくなるようにパトロールを行っていきます。

【活動経過】

月 日	活 動 内 容	参加人数
5月1日	第1回部会	9名
5月22日	田植え体験学習…白山小	2名
6月12日	第2回部会	4名
6月16日	ホテル観察会	19名
6月22～24日	花いっぱい推進活動（プランター植込み&配布）	7名
6月26日	第3回部会	8名
7月14日	彼岸花球根植え	10名
7月14日	不法投棄パトロール	10名
9月11日	稲刈り体験学習…白山小	2名
10月	第4回部会	5名
11月	第5回部会	5名
12月15日	しらやまカレンダー2019 配布	5名
	老人クラブ草刈り（公民館周辺）	
	町内花壇整備（安養寺、中野、都辺・上杉本、下黒川）	
	管理事業（若須岳、天城山、西武広域道、解雷ヶ清水、小蓮花の滝）	

【福祉健康部】

白山地区の人々が、長寿社会のなかで、運動・食生活・親睦を通じて元気で豊かな日々を過ごされるように、手助けをしたいと考え活動しました。

●白山地区体育祭

青空の下、小さな子供さんからご高齢の方まで白山地区民が一同に集まり、運動を通して親睦を図りました。

●敬老会

30年度の敬老会は中学校講堂に於いて文化祭と同時開催としました。85歳の長寿のお祝い、夫婦そろって75才以上になられた金婚の方のお祝いとして壽詞贈呈を行いました。

●健康まつり

文化祭と同時開催となっている健康まつりでは文化祭展示コーナーの一角で健康まつりのスペースを作り体力測定と足裏マッサージ・手洗いチェックを体験していただきました。

「三歳児虫歯のない子」の表彰式も行い、若い世代にも参加してもらいました。

●認知症講演会

認知症について学習し、理解を深めることができました。介護予防の大切さを学びました。

●健康ウォーク

武生米ノ線の開通に合わせて、早朝に車道を歩きました。これは、永年の地区の悲願であった、吉野瀬ダムの付け替え道路開通という貴重な機会を多くの人に知ってもらうという事も期待して行いました。歩くことで、車からでは見られない景色を堪能できました。

●独居老人食事サービス

一人暮らしの老人を対象に民生委員の協力の元、食改・日赤奉仕団・福祉推進員の方に弁当を作っ

ていただき、個々のお宅に配布をしながら日々の健康・生活を見守りました。

【活動経過】

月 日	活 動 内 容 (H30)	参加人数
5月10日	第1回部会	19名
5月27日	白山地区体育祭	500名
6月29日	ふれあい交流会（白山小学校3・4年生）	47名
7月8日～29日	市民体育大会（サッカー、綱引き、ボウリング、ソフトボール）	
7月11日	第2回部会	13名
8月11日	健康ウォーク in 武生米ノ線	60名
8月11日	施設慰問（しらやま山荘利用者交流会）	
9月14日	第3回部会	17名
10月6日	介護予防教室① 認知症講演会「認知症を知ろう」	36名
10月14日	秋季大会（スリータッチボール）	
10月28日	敬老会	140名
〃	健康まつり	100名
11月4日	西部地区体育振興球技大会	
11月11日	天城山ウォーク	11名
11月15日	配食サービス（1回目）	25名
12月15日	友愛訪問（独居高齢者慰問）	
12月16日	配食サービス（2回目）	25名
12月27日	介護予防教室② 和紙だるまづくり	10名
1月17日	配食サービス（3回目）	25名
2月10日	冬季各種大会（綱引き・ビーチソフトバレー・卓球）	
2月10日	配食サービス（4日目）	25名
3月3日	文殊山ウォーク	13名
3月21日	発酵食で健康ごはん	9名
3月28日	介護予防教室③ 落語で健康	50名
通年	生活習慣病予防食料理講習会	
通年	はつらつ教室（毎月1～2回）	

【しらやまっこ育成部】

少子高齢化が進む中、白山で生まれた子供たちが、地区の皆様の協力のもとすくすくと育つように、また、子育て世帯の負担が少しでも軽減されるように、との考えのもと以下の活動をしました。

●しらやまっこ広場

子ども会主催のキャンプの前に、金華山グリーンランドで巣箱づくりをしました。「夢生民クラブ」の協力のもと、巣箱の材料を自分たちで切ったり、釘をうったりして親子で協力しながら、6基の巣箱を作ることが出来ました。また、できた巣箱は後日、金華山グリーンランド内の雑木林に設置し、野鳥の棲みかとなっています。

●親子ふれあい事業

11月2日に、白山小学校の協力のもと、親子で考える「白山ウルトラクイズ」を行いました。白山に関すること、学校に関することなど、合計10問の〇×クイズを出して、親子で地区のことなどを学習してもらうことができました。

●はたちの旅立ち

今年20歳になる成人をお祝いするために、市の成人式終了後、公民館で行いました。恩師の先生を三名迎え、ビンゴゲームや近況報告などをして、楽しいひとときを過ごしました。彼らの中で一人でも多くの方が白山に残ってくれることを期待しています。

【活動経過】

月 日	活 動 内 容	参加人数
5月10日	部会	13名
6月30日	子育て広場（親子で水墨画）	19名
7月28日	しらやまっこ広場（巣箱作り）	30名
9月6日～8日	合宿通学	2名
9月下旬	一行詩募集	70名
10月28日	一行詩展示（文化祭）	10名
11月2日	親子ふれあい事業（白山ウルトラクイズ）	90名
12月13日	はたちの旅立ち打ち合わせ	8名
12月17日	はたちの旅立ち最終打ち合わせ	8名
1月13日	はたちの旅立ち	34名
3月10日	一行詩製本、一行詩五中へ	
4月～10月	子どもお茶クラブ	107名
4月～12月	子育て支援 かたかたC a f é	46名

【安全防災部】

交通安全事業としては、交通安全指導、地区行事時の交通整理、雑踏警備を行いました。また、交通安全協会・白山防犯隊の協力のもと、交通安全啓発チラシ配布を行いました。

防犯事業としては、防犯パトロールを毎月第2火曜日に防犯隊の方々に同行し地区内を巡回しました。

白山防犯隊を中心として、スイカパトロールも実施しました。また、子ども見守り活動として下校時パトロールを行い、小学生・中学生全員に防犯反射マグネットを配布しました。

【活動経過】

月 日	活 動 内 容	参加人数
4月8日	桜まつり 交通整理・防犯パトロール	7名
5月26日	地区体育祭 交通整理・防犯パトロール	10名
6月20日	自主防災組織リーダー育成研修会参加	2名
6月26日	部会	4名
8月4日	しらやま夏祭り 交通整理・防犯パトロール	9名
9月	地区戦没者慰霊祭	1名

10月11日	地区運転者講習会	80名
10月28日	地区文化祭・敬老会・健康まつり 交通整理・防犯パトロール	9名
11月11日	金華山秋の収穫祭 交通整理・防犯パトロール	11名
12月25日	年末特別警戒	16名
2月3日	しらやま冬ものがたり 交通整理・防犯パトロール	4名
3月	子ども安全見守り活動 小中学生安全防犯マグネット贈呈	
4月～3月	下校時パトロール	約200名
6月～2月	安全点検（地域安全向上支援事業）6回	24名
7月～3月	防犯パトロール	29名
7月～8月	すいかパトロール 3回	24名

【広報部】

本年度は、広報紙を新たに公民館の広報と一体化し、「山干飯の里 しらやま」とし、発行致しました。広報部員も地区や各町内の行事に参加し、写真等の資料を残しその写真を読みやすい紙面としました。また地区のイベントを動画として残す為、本年度は初めてビデオ撮影も行いました。

地区文化祭では各広報部員の撮影した写真をパネルに展示し、多くの人の目に留まったことと思います。

今年もまた地区内外にしらやま PR の意味も含め、丹南ケーブルテレビに白山地区の状況の写真を提供しました。丹南ケーブルテレビ主催の研修旅行にも参加し、丹南地区の特派員さんとの交流もあり情報の交換を行いました。

「しらやま SATOYAMA スタジオ」は月1回（第4日曜 13:00～14:00 たんなん FM (79.1MHz)）とインターネットにより“しらやま”の情報を県内外に発信してきました。前年同様白山地区の若者たちが中心となって運営しており、白山地区のゲストを迎え魅力ある番組を製作し、地区の知名度を上げる大きな戦力となっています。さらに夏祭り、文化祭の司会等も行いました。各町内の方々に取材もさせて頂きました。

【施設運営部】

しらやまいこい館は、平成18年4月から指定管理者として受託し、平成31年4月で13年が経過しました。28年4月から3期目となり、33年3月までの5年間の業務委託を受託しております。また、越前市みどり自然の村 太陽広場は、26年度より5年間の業務委託を受け31年度で指定管理の受託が終了しました。31年度からは、指定管理ではなく管理を受託し、管理を継続していく予定となっております。

●しらやまいこい館の管理運営

いこい館は現在、「水辺と生き物を守る農家と市民の会」「コウノトリPRコーナー」で毎日利用され、地区内外から大勢の方が訪れています。ロビーでは里山スタジオの収録、和室では各種会議やミーティング、体育館は、老人クラブ、グランドゴルフ練習、子ども会卓球練習、地区内外のスポーツ少年団の練習、田んぼファンクラブ収穫祭などに活用されています。年末には利用者の方も協力いただき、大掃除を実施しました。今後も来館者が気持ちよく利用できるように努めます。

<平成 30 年度 いこい館利用者数>	6,887 人	(H29 8,645 人)
(内訳) 和室、体育館、研修室	3,074 人	(H29 4,947 人)
コウノトリ PR 館来場者	3,813 人	(H29 3,698 人)

●越前市みどりと自然の村の管理運営

みどりと自然の村 太陽広場は、主にキャンプやバーベキュー場として沢山の方に利用して頂いています。近年の入場数を分析すると、キャンプの利用が右肩上がりであり伸びているため、30年度はキャンプ部門を強化すべく、春にはプロに学ぶテントの張り方教室などを開催し、キャンプ人口の底上げを図りました。従来のキャンプ場に加えて、GWやキャンプ日和の土日には、芝生広場も開放し多くのキャンプ客を受入れ、利用者の増加につなげました。また、利用者団体が行う桜まつり、さぎ草展、バイクイベントなども昨年同様開催し、その他にもいくつかの団体に活用して頂きました。更に連携事業としてはエコ・グリーンツーリズム『水の里しらやま』との共催で、夏場は「工作教室」「流しそうめん」などの体験を折り込んで、子ども会やスポ少を受け入れ、冬季には、『門松作り』や、『しらやま冬ものがたり』を開催し、年間を通じて利用者拡大に努めました。

次年度は引き続きキャンプに関する講座、広大な芝広場を活用した体験教室などを増やし、県内外のキャンプ愛好者や社会教育団体へ効果的に発信できるよう工夫することと、BBQ は5月～10月ごろまで受入れ時間の延長も検討し需要に応えることで、利用者増を図りたいと思います。

<主な利用イベント>

4月 8日	桜まつり	800 人
4月14日、5月27日	キャンプ初心者教室	36 人
4月28日～30日	バンパーキャンプ (ハーダビッツバウ愛好家集会)	750 人
7月14日	流しそうめん体験 (吉野サッカースポ少)	40 人
8月7～9日	福大探検隊キャンプ	60 人
8月11～14日	さぎ草展	400 人
9月 1日	越前市建設業会バーベキュー	158 人
9月 8日	工作体験 (氷坂町子供会)	33 人
10月	障がい者施設 あいの里バーベキュー	106 人
11月 3日	キャンプフェスタ	133 人
12月22～23日	門松作り	49 人
2月 3日	しらやま冬ものがたり	200 人
3月 16日	サンキョーバーベキュー	600 人

利用者数減の理由：7月、8月は子ども会やジュニアリーダー等、多くの団体がキャンプを計画していたが、猛暑と台風の影響を受け、キャンセルが多かった。

平成 30 年度越前市みどりと自然の村 利用状況

(平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月)

(単位：人)

月	稼働 日数	サン・スポーツ ランド		レスト ハウス	キャンプ場		芝広場	利用者総計
		テニス コート	サンスポ 2F		バーベキュー	キャンプ		
30/4 月	26	13	120	82	707	1,451	3,361	5,734
5 月	26	41	0	38	1,229	1,643	3,060	6,011
6 月	26	18	15	9	415	132	459	1,048
7 月	26	20	30	14	843	148	540	1,595
8 月	28	23	46	130	667	618	1,712	3,196
9 月	27	8	0	10	627	209	622	1,476
10 月	28	14	110	12	779	364	777	2,056
11 月	25	11	0	2	446	179	446	835
12～2 月	27	5	0	0	6	121	408	540
3 月	15	0	0	0	720	82	623	1425
合計	254	153	321	297	6,190	4,935	12,008	23,904

利用状況比較 (過去 4 年)

年度	稼働 日数	テニス コート	レストハウス (含サンスポ*2F)	キャンプ場		芝広場	利用者総計
				バーベキュー	キャンプ		
27 年	273	586	388	8,698	1,998	14,798	26,468
28 年	273	409	253	6,816	2,642	14,625	24,745
29 年	273	197	389	6,928	3,207	14,353	25,074
30 年	254	153	618	6,190	4,935	12,008	23,904

(2) 平成30年度事決算及び監査報告

● 一般会計

収入の部

【基礎事業・協働事業・特別事業】

単位:円

項目	30年度予算額	3月補正後額	増減	決算額	備考
繰越金	1,543,352	1,543,352	0	1,543,352	前年度繰越金
市交付金	4,398,000	5,255,000	-146,000	5,255,000	基礎事業1,907千円（一般防犯灯電気料交付金額114千円、 狭隘道路除雪交付金額71千円、社会教育講座事業140千円含む） 協働事業 2,348千円 特別事業（青年よ大志を抱け事業）1,000千円
	1,003,000				
	720,000	720,000	0	720,000	生活支援推進事業（60千円×12ヶ月）
	100,000	100,000	0	100,000	地域組織活動育成費
	206,000	206,000	0	206,000	河川環境づくり交付金
	160,000	160,000	0	160,000	越前市福祉推進員対策事業：社会福祉協議会
	57,000	0	-57,000	0	認知症地域助け合い事業
	105,000	110,000	5,000	110,000	青少年健全育成（60千円） 介護予防事業（50千円）
地区区長会交付金	2,700,000	2,700,000	0	2,700,000	
地域福祉活動協礼金	166,000	160,000	-6,000	159,581	各町内より
事業収入	350,000	280,000	-70,000	279,600	夏まつり・文化祭売上、記念誌売上
雑収入	150,000	137,000	-13,000	136,670	貯金利息、コピー代、寄付
合計	11,658,352	11,371,352	-287,000	11,370,203	

支出の部

【基礎事業】

単位:円

事業名	30年度予算額	3月補正後額	増減	決算額	備考
事務局					
一般防犯灯電気料金補助	114,000	114,000	0	114,000	一般防犯灯電気料交付金
狭隘道路除雪事業	214,000	71,000	-143,000	71,000	狭隘道路除雪交付金
町内整備事業	450,000	267,000	-183,000	267,000	セミハード事業（3町内）
LED防犯灯設置事業	3,000	0	-3,000	0	LED設置事業交付金
事務局費	2,000,000	2,210,000	210,000	2,190,897	会議費・役務費・消耗品費・備品費・リース料・印刷製本費・保険料・負担金・工事費
小計	2,781,000	2,662,000	-119,000	2,642,897	
基礎事業合計	2,781,000	2,662,000	-119,000	2,642,897	

【協働事業】

単位:円

事業名	30年度予算額	3月補正後額	増減	決算額	備考
ふるさとふれあい部					
ふるさとPR事業 (地区内外交流の促進)	370,000	0	-370,000	0	太陽の広場さくら祭り(別団体より交付のため減額)
	650,000	683,000	33,000	682,826	しらやま夏まつり
	150,000	41,000	-109,000	40,088	さぎ草展(別団体より交付のため減額)
	350,000	351,000	1,000	350,055	金華山収穫祭
	40,000	286,000	246,000	285,372	しらやまPR等事業(ファンクラブ通信・パンフレット代)、若須岳登山口看板
ふるさと文化事業 (地区の文化を継承)	420,000	376,000	-44,000	375,485	文化祭
小計	1,980,000	1,737,000	-243,000	1,733,826	
福祉健康部					
健康増進事業 (学習と体験を通じた健康増進)	30,000	36,000	6,000	35,632	生活習慣病予防食の推進(食改)
	280,000	61,000	-219,000	60,040	健康まつり・いきいきふれあいのつどい
	45,000	79,000	34,000	78,464	健康ウォーク
長寿福祉事業 (高齢者が活躍する地域の創生)	65,000	67,000	2,000	66,300	はつらつ教室(月2回)、介護予防講座
	307,000	323,000	16,000	322,406	敬老会
	70,000	75,000	5,000	74,641	独居老人の食事サービス4回
	40,000	32,000	-8,000	31,485	友愛訪問、施設慰問(日赤奉仕団)
	46,000	40,000	-6,000	40,000	いきいきサロン10団体
	57,000	0	-57,000	0	認知症地域助け合い事業:徘徊模擬訓練
	120,000	123,000	3,000	123,000	福祉推進員対策事業
	720,000	723,000	3,000	722,534	生活支援推進事業
スポーツ振興事業 (地区住民の体力増進)	610,000	525,000	-85,000	524,672	地区体育祭、体協たより(体育協会)
	40,000	22,000	-18,000	22,340	各種大会(秋・冬)、西部地区負担金
	210,000	149,000	-61,000	148,907	市民体育大会
小計	2,640,000	2,255,000	-385,000	2,250,421	
しらやまっこ育成部					
児童福祉事業 (青少年の健全育成)	60,000	38,000	-22,000	37,536	卒業記念品(こども園、小・中学校)、PTA永年活動表彰
	160,000	46,000	-114,000	45,656	親子ふれあい事業、しらやまっこ広場、子ども会安全共済・育成費
	45,000	42,000	-3,000	41,904	タイムカプセル
	20,000	30,000	10,000	29,492	スポーツ交流会(卓球)、スポ少支援
	10,000	6,000	-4,000	5,802	一行詩
	10,000	7,000	-3,000	6,944	子育て広場(未就学児親子活動)
青少年育成事業 (青少年の健全育成)	150,000	135,000	-15,000	134,023	はたちの旅立ち
	100,000	224,000	124,000	223,668	学童クラブ
	100,000	118,000	18,000	117,989	子育て支援事業(かたかたCafé、子どもお茶クラブ、合宿通学)
小計	655,000	646,000	-9,000	643,014	

事業名	30年度予算額	3月補正後額	増減	決算額	備考
安全防災部					
防災安全事業 (交通安全・防災・防犯・防火活動の強化及び各町内間の連携の強化)	70,000	70,000	0	70,000	交通安全指導・イベント時の交通整理(安全協会)
	110,000	1,000	-109,000	900	防災関連機器
	20,000	122,000	102,000	121,954	防犯看板(一次避難場所看板設置8町内)
	150,000	150,000	0	150,000	地区内パトロール・イベント時の雑踏警備(防犯隊)
	0	60,000	60,000	60,000	見守り隊、子ども見守り活動(小・中学校防犯グッズ)
	10,000	0	-10,000	0	消火器取り扱い訓練、防犯教室
	10,000	0	-10,000	0	災害時要支援者マップ等の作成
小計	370,000	403,000	33,000	402,854	
広報部					
広報事業	70,000	53,000	-17,000	52,889	広報紙発行、研修、HP更新
SATOYAMAスタジオ	216,000	216,000	0	216,000	SATOYAMAスタジオ運営(月1回)
小計	286,000	269,000	-17,000	268,889	
自然環境部					
環境政策事業 (継続的な自然環境の保全)	10,000	5,000	-5,000	4,020	環境パトロール
	250,000	541,000	291,000	540,108	環境学習、里山セミナー、間伐材活用小屋(木材切出し)
	70,000	66,000	-4,000	65,880	しらやまカレンダー
観光施設管理事業 (継続的な自然環境の保全)	130,000	132,000	2,000	131,500	若須岳、天城山遊歩道整備(商工会、菖蒲谷壮年会)
	45,000	45,000	0	45,000	西部広域林道整備(菖蒲谷壮年会)
	20,000	20,000	0	20,000	解雷ヶ清水の整備(千合谷町)
	20,000	20,000	0	20,000	勝蓮花の滝整備(勝蓮花町)
自然体験事業 (自然体験を通じた自然との共生)	50,000	32,000	-18,000	31,539	さぎ草公園花壇づくり(安養寺町)
	30,000	34,000	4,000	33,113	住民参加の花壇づくり(各町内)
	10,000	7,000	-3,000	6,783	生き物調査・ホタル観察会
	10,000	0	-10,000	0	コウノトリを呼び戻す農法
環境保全・環境美化事業	70,000	82,000	12,000	81,600	公民館周辺清掃作業(老人クラブ)
	50,000	27,000	-23,000	26,784	河川・ピオトーブ周辺環境整備(彼岸花球根植え)
小計	765,000	1,011,000	246,000	1,006,327	
協働事業合計	6,696,000	6,321,000	-375,000	6,305,331	

【特別事業】

単位:円

事業名	30年度予算額	3月補正後額	増減	決算額	備考
青年よ大志を抱け事業	260,000	45,000	-215,000	45,000	報償費:ドローン講習謝礼、ファンクラブ交流会、大使謝礼
	100,000	124,000	24,000	123,178	借上料:交流会車・会場、見どころ整備草刈り機、複合機
	280,000	167,000	-113,000	166,700	旅費:ファンクラブ意見交換会(大阪)
	360,000	25,000	-335,000	24,733	需用費:文化祭ブース、30歳成人式
	250,000	254,000	4,000	253,368	備品費:DJI Mavic Pro 他 ドローン周辺機器
	0	432,000	432,000	432,000	委託料:しらやまPR動画撮影・編集
	50,000	271,000	221,000	270,062	役務費:切手、はがき、印刷 他 食糧費:会議・作業お茶
特別事業合計	1,300,000	1,318,000	18,000	1,315,041	

全会計集計の部

[収入合計]

単位:円

項目	30年度予算額	3月補正後額	増減	決算額	
前年度繰越金 ②	1,543,352	1,543,352	0	1,543,352	
市交付金	6,749,000	6,551,000	-198,000	6,551,000	
自己財源	地区区長会交付金	2,700,000	2,700,000	0	2,700,000
	地域福祉活動協力金	166,000	160,000	-6,000	159,581
	事業収入	350,000	280,000	-70,000	279,600
	雑収入	150,000	137,000	-13,000	136,670
	小計 ③	3,366,000	3,277,000	-89,000	3,275,851
合計 ①	11,658,352	11,371,352	-287,000	11,370,203	

[支出合計]

事業集計	30年度予算額	3月補正後額	増減	決算額
基礎事業	2,781,000	2,662,000	-119,000	2,642,897
協働事業	6,696,000	6,321,000	-375,000	6,305,331
特別事業	1,300,000	1,318,000	18,000	1,315,041
合計	10,777,000	10,301,000	-476,000	10,263,269
予備費	881,352	1,070,352	189,000	1,106,934
総合計	11,658,352	11,371,352	-287,000	11,370,203

自己財源率 33.34% 自己財源比率は20%以上

③ / (① - ②) × 100

収入済額		支出済額		(次年度 繰越金)
11,370,203	-	10,263,269	=	1,106,934

監 査 報 告 書

下記の事項に関して、監査を実施いたしましたので報告いたします。

記

1. 平成30年4月1日から平成31年3月31日までの しらやま振興会事業実施に当たり、各事業が適正に評価されたか。
2. 各事業にあたり、事業計画・請求書・領収書等付属書類が適正に整備されているか。
3. 事業費の入金及び出金は、所定の手続きを得て処理されているか。
4. 印章・預金通帳及び関係会計諸帳簿の記載及び保管は適正にされているか。
5. 各諸帳簿の決済手続きは、適正になされているか。
6. 備品購入後、備品台帳に記載し備品管理を適正に行っているか。
7. その他受付文書・発送文書の諸手続き及び会議録等自治振興会運営における関係書類の保管は、適正になされているか。

以上の項目に関して、監査を実施いたしました。

平成31年4月10日

監 事

嶋田 控 男 

監 事

西田 さら子 

以上

意 見 書

監 事

嶋田 控 男 

監 事

西田 さら子 

平成31年4月10日 しらやま振興会の事業運営並びに、会計監査を実施いたしましたので、それに関する意見書は下記のとおりです。

記

1. 平成30年4月1日から平成31年3月31日までの しらやま振興会事業実施に当たり、各事業が適正に実施されていた。
2. 各事業にあたり、事業計画・請求書・領収書等付属書類が適正に整備されていた。
3. 事業費の入金及び出金は、所定の手続きを得て処理されていた。
4. 印章・預金通帳及び関係会計諸帳簿の記載及び保管は適正になされていた。
5. 各諸帳簿の記載及び保管は、適正になされていた。
6. 備品台帳の記載及び保管は適正になされていた。
7. その他受付文書・発送文書の諸手続き及び会議録等自治振興会運営における関係書類は、適正になされていた。
8. 預金通帳の残高は、預金通帳と元帳と一致していた。

以上

しらやま自治振興計画書

1. 計画の期間

2019年度から2021年度（3カ年間）

2. 地区の現状（地域の地理的条件や生活環境などの特色や自治振興事業を開始して変化したこと、しなかったことなど）

- 1) 若い世代の流出が続くなど、依然として人口が減少し、少子高齢化が進行し、一人暮らし高齢者世帯の増加が進んでいる一方、元気な高齢者と共に、幅広い年代が各種団体、各種活動において活躍している。
- 2) 自然環境保全を重視した農林業を継続的に行ってきたことにより、豊かな里山景観が保持されているが、農林業人口が減少し、耕作放棄地の増加、鳥獣被害の拡大などもあり、農林業の衰退が懸念されている。
- 3) 希少な野生生物が生息している自然環境を保全再生する取り組みを数多く行っているが、地域全体への実感できる波及効果がみえていない。
- 4) 振興会発足15年を超え、振興会活動は地区民への定着も図られつつあるが、課題も残されている。しかし、発足当初から、女性役員の割合が市の目標である40%を超えており、地域活動への女性の進出が定着してきている。

3. 地区の課題（地区が今後改善していくべき課題とその理由を代表的ないくつか）

- 1) 人口減少に歯止めをかけ、魅力ある地区を作る。
- 2) 豊かな自然環境を活かし、住民が生き生きと暮らせる地区を作る。
- 3) 住民自らが課題解決に向け、行政、各種団体等と協働し、企画・実行する体制を強化する。
- 4) 豊かな自然環境を背景とし、移住交流の拡大を図る。

4. 地区の将来像（地区が将来どうなることを望んでいるか、何に向かって前進するかなど）

- 1) 希少な野生生物が生息している自然環境を保全再生しながら、多様な人々が参加、定住し、活躍したくなるような地区を目指す。
- 2) 子ども達を地域全体で見守り育てる環境を作り、健全なしらやまっ子育成を図る。
- 3) 地区民が、積極的に参加したくなるような事業を企画し、地区内交流を促進する。
- 4) 福井国体を契機に健康づくりを促進し、住民が健康で心豊かに暮らせる地区を目指す。
- 5) 地区の実情に即した交通安全、防災、防犯、防火体制を確立し、自助共助の精神を重んじ、安全安心地区を目指す。
- 6) 情報をわかりやすく提供するとともに、SNS等を活用し、地区内外に活動情報等を発信し、「しらやま」を広く宣伝する。

5. 地区の目標（地区の今後3年間のキャッチフレーズ、又は各部の重点目標）

【水と緑に恵まれ、自然豊かな里地里山に囲まれたいきいきしらやま】

6. 地区の基本方針（今後3年間に、重点を置く事業のテーマ・実施内容など）

別紙 しらやま自治振興計画体系表の『地区の基本方針』のとおり

7. 事業実施計画

- (1) 白山地区地域自治振興計画体系表（2019年度から2021年度）
- (2) 白山地区自治振興会年度別個別事業（各年度作成）

しらやま自治振興計画体系表 (1~3)

地区のキャッチフレーズ

【水と緑に恵まれ、自然豊かな里地里山に囲まれたいきいきしらやま】

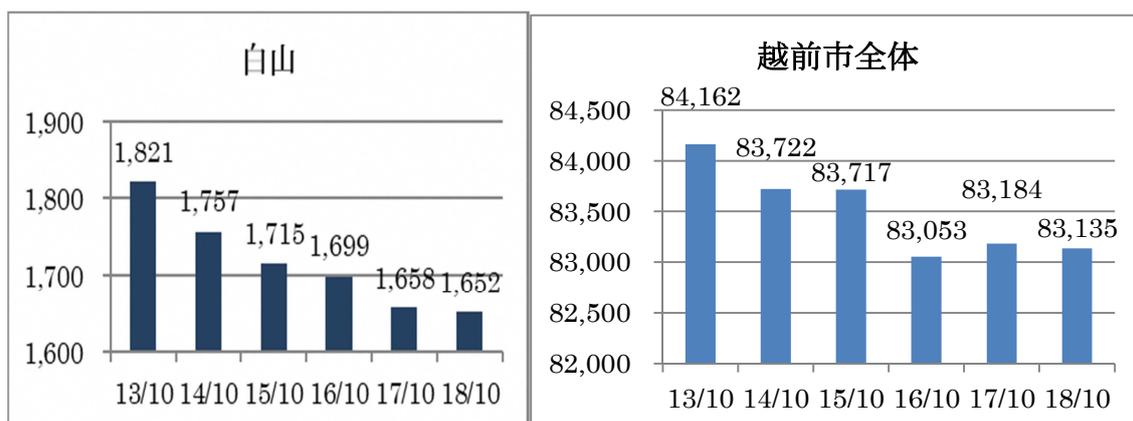
担当部	地区の将来像	地区の基本方針	実現するための事業	実施年度					
				1	2	3			
ふるさとふれあい部	地区民が積極的に参加したくなるような事業を企画し、多文化共生を推進するとともに、地区内外交流を促進する。	地区内外交流の促進	しらやま夏まつり	○	○	○			
			白山地区総合文化祭	○	○	○			
			太陽の広場桜まつり	○	○	○			
			さぎ草展	○	○	○			
			金華山収穫祭	○	○	○			
			しらやま冬ものがたり	○	○	○			
福祉健康部	福井国体を契機に健康づくりを促進し、住民が健康で心豊かに暮らしていける地区を目指す。	地区の歴史文化を継承	郷土の歴史・芸能・文化等の伝承	○	○	○			
			学習と体験を通じた健康増進	健康ウォーク	○	○	○		
				健康まつり	○	○	○		
				健康21学習（気軽にできる健康への取組み）	○	○	○		
				生活習慣病予防食の普及啓発	○	○	○		
		はつらつ教室		○	○	○			
		高齢者が活躍する地域の創生	敬老会	○	○	○			
			いきいきサロン支援事業	○	○	○			
			認知症地域助け合い事業（認知症徘徊訓練 他）	○	○	○			
			配食サービス（年4回）	○	○	○			
			友愛訪問・施設慰問活動	○	○	○			
			福祉推進員対策事業	○	○	○			
			生活支援推進事業	○	○	○			
			介護予防教室	○	○	○			
		地区住民の体力増進	災害時要支援者対応（マップ作成 他）	○	○				
			地区体育祭、体協だより発行	○	○	○			
			各種大会、西部地区体育振興球技大会	○	○	○			
			市民大会選手育成	○	○	○			
			しらやまっ子育成部	子ども達を地域全体で見守り育てる環境を作り、健全なしらやまっ子育成を図る。	青少年の健全育成	白山っ子広場(子ども会活動支援)	○	○	○
						合宿通学	○	○	○
タイムカプセル(小学校、20歳、30歳)	○					○	○		
スポーツ少年団活動支援	○	○				○			
一行詩（中学校）	○	○				○			
児童福祉の充実	子育て広場（未就学児親子対象）	学童クラブ支援	卒業記念品贈呈（こども園・小学校・中学校）	○	○	○			
			地区間交流活動（ようこそ白山）	○	○	○			
			未就園児親子活動（かたかたCafé）、子ども教室活動	○	○	○			
			青年活動の推進	新成人のつどい（はたちの旅立ち）、青年グループ活動支援	○	○	○		
			安全防災部	地区の実情に即した交通安全・防災・防犯・防火体制を確立し、自助共助の精神を重んじ、安全安心地区を目指す。	交通安全・防災・防犯・防火活動の強化及び各町内間の連携の強化	交通安全推進活動・イベント時交通整理	○	○	○
防災訓練、防災機器管理	○	○				○			
防犯看板維持点検	○	○				○			
地区内防犯パトロール	○	○				○			
子ども安全見守り（登下校時、部活動終了後）活動	○	○				○			
防犯防災教室	○	○				○			
広報部	情報をわかりやすく提供するとともに、SNS等を活用し、地区内外に活動情報等を発信し、「しらやま」を広く宣伝する。	効率的な地域情報の発信	地区広報誌「山干飯の里しらやま」発行	○	○	○			
			地域イベント外国語版チラシ作製	○	○	○			
			ドローン町内PR動画作成	○	○	○			
			H P 管理（更新作業）	○	○	○			
			S A T O Y A M A スタジオ	○	○	○			
自然環境部	希少な野生生物が生息している自然環境を保全再生しながら、多様な人々が参加、定住し、活躍したくなるような地区を目指す。	継続的な自然環境の保全	環境パトロール	○	○	○			
			外来種駆除活動	○	○	○			
			河川環境美化活動（河川一斉清掃）	○	○	○			
			里山里水整備（若須岳、天城山、西武広域道、解雷ヶ清水、勝蓮花の滝）	○	○	○			
		自然体験を通じた自然との共生	生き物調査・自然体験・環境学習	○	○	○			
			間伐材活用	○	○				
			生活環境美化の推進	白山公民館周辺清掃	○	○	○		
				住民参加花壇づくり（さぎ草公園・各町内）	○	○	○		
地域花いっぱい運動	○	○		○					
施設運営部	施設の設置目的の達成と地域特性を活かした活動拠点施設として活用する。	公の施設の適切な管理		みどり自然の村管理	○	○	○		
			いこい館指定管理	○	○	○			
事務局	水と緑に恵まれ、自然豊かな里地里山に囲まれたいきいきしらやまを創る。	効率的な地区内外との連絡調整	自治振興会運営	○	○	○			
			しらやまPR	しらやまカレンダー作成、PRパンフ、しらやまファンクラブ 他	○	○	○		

第3号議案

2019年度事業計画

〈全体として〉

- 当地区は、緑と水に恵まれ、全国4箇所の「里地里山保全再生モデル事業」の実施地域に指定され、「日本の里山100選」にも選ばれているなど、懐かしい日本の原風景が保全されている地区です。しかし、少子高齢化が進み、若年層を中心として地区外への流出が進んでいます。
- 2013年（H25）年から2018年（H30）の5年間において169人、約9.3%の減少で、市内17地区において最大の減少率です。市全体の減少率は1.2%です。子育て世代を中心として、白山地区から他地区への転居が多い状況です。



- 公民館周辺の美化活動、各集落でのサロン活動など、いきいきシニアクラブ（老人クラブ会員数300余名）が活発に活動しています。
- 近年、事業が多すぎる、役員が大変だという声が上がってくるがありますが、具体的に何の事業が負担なのか、お祭りイベントが多いのかなどの議論がありません。事業に対する無理解なのか、社会的無理解なのか議論がないところです。
- 振興会発足以前から各種団体が取り組んできたことを毎年精査し、取り組んできているところですが、不足している議論は事業を行いながら補い、地区民の納得のいく事業にしていく必要があります。
- 特徴のある事業・取り組みも多くありますが、事業のスクラップアンドビルドを進めます。何のためにやるのか、その目的は賞味期限切れしていないかなど、点検を行います。
- 後継者が育っているかという視点からも事業を行うことが重要です。振興会を実際に動かすスタッフの中に、次世代を担うことを期待される方々（40～50才代）が、どれだけ関わっているのかを意識しながら事業を進めます。

特に、昨年度取り組んだ「しらやま青年、大志を抱く事業」に関わった青年層を中心とした後継者育成に取り組めます。

- このように当地区には、強みもあれば弱みもあります。強みを活かし、弱みを克服する取り組みが求められています。先人が残してくれた山干飯の里を、今度は、私たちが自分の子供や孫たちに残していかなければなりません。
- 当会は、地域全体の運営に関わる合意形成と計画づくりそして実践を行う自治組織です。集落ごと、分野ごとに細切れにされている多種多様な需要や資源をまとめ、新たな持続性・収益性を生み出す事業や仕組みづくりの展開を担う組織です。当会には、定住と循環を支える複合的な組織・人材・拠点・ネットワークの仕組みづくりが求められています。
- これまで取り組んできたエコ・グリーンツーリズム事業については、推進団体「水の里しらやま」を発足させ、四年が経過し、事業収入が大きく伸びるなど、順調に推移しています。この取り組みが前述した新たな持続性・収益性を生み出す事業組織の一例です。ここでは、弁当販売などの収益事業で利益を上げ、空き家を活用して、昨年度から福井ふるさと茶屋事業に取り組み、2019年6月から本格営業の予定です。地区内外の人々との交流と協働により、さらなる事業展開が期待でき、当会としても、連携した取り組みを行います。
- このように、複合的な自治・事業を取組むには、マネジメント人材の育成・配置が肝要です。単独分野、組織や集落ごとの個別最適でなく、分野を横断した全体最適を設計・運営できる地域マネージャー的人材の育成・配置が大きなカギを握ることになります。

- 市の要請のもと、28年度途中から、国の介護予防制度の大きな変更でもある住民主体の日常生活支援推進総合事業（地域支え合い推進事業）に取り組んでいます。介護予防・日常生活支援総合事業における訪問型住民サービスB型【サポートしらやま】が平成29年11月2日からサービスを開始しています。

しかし、この組織を支える支援員が不足している事や、集落ごとの町内福祉連絡会、地区福祉ネットワーク会議とうまく連動していないこともあるため、越前市地域福祉計画に基づき、地域福祉の取組を進めます。

- 当会は、前述したことをしっかり踏まえ、今回改定した自治振興計画に基づき、2019年度事業計画を事務局、各専門部において取り組みます。とりわけ、人口減少とどう向き合っていくのか議論し、持続可能な地域づくりに向けて地域の皆様と共に取組を進めてまいります。

- 今年度の特別事業は『しらやまっ子、多文化を学ぶ事業』です。

事業の目的

しらやまっ子が外国人と交流、ふれあうことで、国籍や文化の違いをそれぞれの個性としてとらえ、お互いの理解を深め、多文化共生の一助となる。

また、多文化共生の取り組みをすることにより、当地区の豊かな自然環境を誇りに思い、故郷を愛する気持ちを醸成したい。

事業内容

1) 多文化を学ぶ事業

- ・当会が、外国人、市の担当者を招き、多文化共生の意義、方法などの内容を理解する連続お勉強会を開催する。

2) 外国人との交流事業

- ・地区のイベント、学童の餅つきなどのイベントに外国人を招待し、ふれあい、交流する。

実施計画（時期・事業内容・参加者数）

実施時期	事業内容	参加者見込
平成 30 年 5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・学童クラブ、しらやま青年、しらやまスポーツクラブ打ち合わせ ・研修「青年活動の昔と今」 ・年間計画の協議 	20 人
平成 30 年 7 月 ～ 平成 31 年 2 月	<p>① 多文化を学ぶ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人、市の担当者を招き、多文化共生の意義、方法などの内容を理解する連続連続お勉強会を開催する。(5 回予定) <p>② 外国人との交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区のイベント（夏祭り、ふゆ物語、餅つき、節分、伝承遊び、ミニ門松づくり等）に外国人を招待し、ふれあい、交流する。 	300 人

越前市採択通知書添付

しらやま振興会

会長 坂井 諭一 様

越前市長 奈良 俊幸



平成31年度地域自治振興事業（特別事業）採択通知書

みだしのことについて、平成31年3月9日に開催いたしました公開審査会において、審査員7名にて審査を行った結果、下記のとおり採択となりましたので通知します。

記

1 審査結果

事業名	しらやまっ子、多文化を学ぶ事業						
補助金内示額	金 480,000 円						
審査員による 評価	I 公益性 ・ニーズ	II 協働 性	III 計画 性・実現 可能性	IV 発展性 ・継続性	V 独創性 ・先駆性	VI 課題 解決性	合 計
	88.0%	84.0%	80.0%	84.0%	84.0%	80.0%	83.3%
審査員の 意見	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な拡がりや発展性がありすばらしいと思う。 ・白山を切り口に外国人との交流から定住に更に期待する。外国人の子どもも交流に関わり、更に労務問題の解決に期待したい。 ・白山地区だけでなく他地区にも呼びかけても良い。そして白山地区の豊かな自然に触れてもらう。 ・外国人との交流は日本と自分を知る大切な事と思う。企業の理解があるのは素晴らしい。無理に他地区を取り入れ過ぎないで良い。 ・多文化共生の上で先進的な取り組みとなる。全域に広まることを期待。 ・外国人との交流を積極的に巻き込むことに期待する。 ・現在、本市の抱える課題に対応したものである。日本人市民に対して共生の必要性をまず啓発してほしい。 						

2 その他

- (1) 採択事業について、ガイドラインにより特別事業実施計画書（様式特2）、（事務システムで出力される個別計画書を添付）と議決証明した理事会の資料を各地区自治振興会の理事会での承認後に提出してください。
- (2) 地域自治振興事業交付金の決定は、計画書提出後に通知します。

《お問合せ》

越前市 市民自治推進課 八田

TEL : 0778 - 22 - 3293

eメール : chiiki@city.echizen.lg.jp

2019年度予算

● 一般会計

収入の部

【基礎事業・協働事業・特別事業】

単位:円

項目	31年度予算額	30年度当初予算額	30年度補正予算額	増減	備考
繰越金	1,106,934	1,543,352	1,543,352	-436,418	前年度繰越金
市交付金	4,834,000	4,398,000	5,255,000	-567,000	基礎事業2,065千円（一般防犯灯電気料交付金額121千円、 狭隘道路除雪交付金額221千円、社会教育講座事業140千円含む） 協働事業 2,289千円 特別事業480千円
		1,003,000			
	720,000	720,000	720,000	0	生活支援推進事業(60千円×12ヶ月)
	0	100,000	100,000	-100,000	地域組織活動育成費
	206,000	206,000	206,000	0	河川環境づくり交付金
	160,000	160,000	160,000	0	越前市福祉推進員対策事業:社会福祉協議会
	0	57,000	0	-57,000	認知症地域助け合い事業
	60,000	60,000	60,000	0	青少年健全育成
50,000	45,000	50,000	5,000	介護予防事業	
地区区長会交付金	2,700,000	2,700,000	2,700,000	0	
地域福祉活動協力金	166,000	166,000	160,000	0	各町内より
市委託金	200,000	0	0	200,000	市合宿通学事業委託料
事業収入	300,000	350,000	280,000	-50,000	夏まつり・文化祭売上、参加費
雑収入	150,000	150,000	137,000	0	貯金利息、コピー代、寄付
合計	10,652,934	11,658,352	11,371,352	-1,005,418	

支出の部

【基礎事業】

単位:円

事業名	31年度予算額	30年度当初予算額	30年度補正予算額	増減	備考
事務局					
一般防犯灯電気料金補助	121,000	114,000	114,000	7,000	一般防犯灯電気料交付金
狭隘道路除雪事業	221,000	214,000	71,000	7,000	狭隘道路除雪交付金
町内整備事業	450,000	450,000	267,000	0	セミハード事業(3町内)
LED防犯灯設置事業	1,000	3,000	0	-2,000	LED設置事業交付金
事務局運営事業	1,700,000	2,000,000	2,210,000	-300,000	会議費・役務費・消耗品費・備品費・リース料・印刷製本費・ 保険料・負担金 他
しらやまPR事業	100,000	0	0	100,000	しらやまファンクラブ等、チラシ、パンフレット、カレンダー作成、 郵送料 他
小計	2,593,000	2,781,000	2,662,000	-188,000	
基礎事業合計	2,593,000	2,781,000	2,662,000	-188,000	

事業名	31年度予算額	30年度当初予算額	30年度補正予算額	増減	備考
ふるさとふれあい部					
地区内外交流の促進	720,000	650,000	683,000	70,000	しらやま夏まつり
	420,000	420,000	376,000	0	文化祭
	370,000	370,000	0	0	太陽の広場さくら祭り
	150,000	150,000	41,000	0	さぎ草展
	350,000	350,000	351,000	0	金華山収穫祭
	50,000	0	0	50,000	しらやま冬ものがたり
地区の歴史文化を継承	10,000	0	0	10,000	郷土の歴史・芸能・文化の伝承
地区外広報	0	40,000	286,000	-40,000	しらやまPR等事業
小計	2,070,000	1,980,000	1,737,000	90,000	
福祉健康部					
学習と体験を通じた健康増進	80,000	45,000	79,000	35,000	健康ウォーク
	70,000	280,000	61,000	-210,000	健康まつり
	20,000	0	0	20,000	健康21学習
	30,000	30,000	36,000	0	生活習慣病予防食の推進(食生活改善推進委員会)
	20,000	20,000	17,000	0	はつらつ教室(運動普及推進委員会)
高齢者が活躍する地域の創生	310,000	307,000	323,000	3,000	敬老会
	40,000	46,000	40,000	-6,000	いきいきサロン10団体
	10,000	57,000	0	-47,000	認知症地域助け合い事業:徘徊模擬訓練
	80,000	70,000	75,000	10,000	独居老人の配食サービス4回
	40,000	40,000	32,000	0	友愛訪問、施設慰問(日赤奉仕団)
	126,000	120,000	123,000	6,000	福祉推進員対策事業
	720,000	720,000	723,000	0	生活支援推進事業
	50,000	45,000	50,000	5,000	介護予防教室
80,000	0	0	80,000	災害時要支援者対応:マップ作成 他	
地区住民の体力増進	530,000	610,000	525,000	-80,000	地区体育祭、体協たより(体育協会)
	22,000	40,000	22,000	-18,000	各種大会(秋・冬)、西部地区負担金
	150,000	210,000	149,000	-60,000	市民体育大会
小計	2,378,000	2,640,000	2,255,000	-262,000	
しらやまっこ育成部					
青少年の健全育成	50,000	160,000	46,000	-110,000	しらやまっこ広場、子供会活動支援
	300,000	0	0	300,000	合宿通学
	45,000	45,000	42,000	0	タイムカプセル(小学6年生、20歳、30歳)
	20,000	20,000	30,000	0	スポーツ少年団活動支援
	10,000	10,000	6,000	0	一行詩
	60,000	60,000	38,000	0	卒業記念品(こども園、小・中学校)、PTA永年活動表彰
児童福祉の充実	100,000	0	0	100,000	地区間交流活動「ようこそ白山」
	10,000	10,000	7,000	0	子育て広場(未就学児親子活動)
	100,000	100,000	224,000	0	学童クラブ支援
青年活動の推進	60,000	100,000	118,000	-40,000	未就園児親子活動、子ども教室活動
	200,000	150,000	135,000	50,000	はたちの旅立ち、プチ30歳同窓会
小計	955,000	655,000	646,000	300,000	

事業名	31年度予算額	30年度当初予算額	30年度補正予算額	増減	備考
安全防災部					
交通安全・防災・防犯・防火活動の強化及び各町内間の連携の強化	70,000	70,000	70,000	0	交通安全指導・イベント時の交通整理(安全協会)
	70,000	110,000	1,000	-40,000	防災訓練、防災機器管理
	50,000	20,000	122,000	30,000	防犯看板修繕・設置
	150,000	150,000	150,000	0	地区内パトロール・イベント時の雑踏警備(防犯隊)
	60,000	0	60,000	60,000	子ども安全見守り
	30,000	10,000	0	20,000	防犯防災出前講座
	0	10,000	0	-10,000	災害時要支援者対応:マップ作成 他
小計	430,000	370,000	403,000	60,000	
広報部					
効率的な地域情報の発信	50,000	70,000	53,000	-20,000	地区広報紙発行
	50,000	0	0	50,000	地域イベント外国語版チラシ作製
	162,000	0	0	162,000	ドローン町内PR動画作成
	120,000	0	0	120,000	HP管理(更新作業)
	216,000	216,000	216,000	0	SATOYAMAスタジオ運営
小計	598,000	286,000	269,000	312,000	
自然環境部					
継続的な自然環境の保全	15,000	10,000	5,000	5,000	環境パトロール
	30,000	0	0	30,000	外来種駆除活動
	215,000	215,000	217,000	0	里山里整備(若須岳85千、天城山45千、西武広域林道45千、解雷ヶ清水20千、勝蓮花の滝20千)
	50,000	50,000	27,000	0	河川環境美化活動
自然体験を通じた自然との共生	50,000	10,000	7,000	40,000	生き物調査・自然体験・環境学習
	300,000	250,000	541,000	50,000	間伐材活用:丸太小屋づくり
生活環境美化の推進	80,000	70,000	82,000	10,000	公民館周辺清掃作業(老人クラブ)
	60,000	80,000	66,000	-20,000	住民参加の花壇づくり(各町内30千、さぎ草公園50千)
	35,000	0	0	35,000	花いっぱい運動
	0	10,000	0	-10,000	コウノトリを呼び戻す農法
	0	70,000	66,000	-70,000	しらやまカレンダー
小計	835,000	765,000	1,011,000	70,000	
協働事業合計	7,266,000	6,696,000	6,321,000	570,000	

【特別事業】

単位:円

事業名	31年度予算額	30年度当初予算額	30年度補正予算額	増減	備考
しらやまっ子 多文化を学ぶ	150,000	0		150,000	報償費:チラシ翻訳謝礼60千、学ぶ事業60千、交流事業30千
	160,000	0		160,000	需用費:事務消耗品50千、伝承遊び用品10千、印刷50千、トナーインク50千
	60,000	0		60,000	借上料:臼・杵 他20千、アウトドア用品40千
	200,000	0		200,000	備品購入費:プリンター周辺機器
	30,000	0		30,000	役務費:切手・ハガキ 他
特別事業合計	600,000	0	0	600,000	

全会計集計の部

[収入合計]

単位:円

項目	31年度予算額	30年度当初予算額	30年度補正予算額	比較	
前年度繰越金 ②	1,106,934	1,543,352	1,543,352	-436,418	
市交付金	6,030,000	6,749,000	6,551,000	-719,000	
自己財源	地区区長会交付金	2,700,000	2,700,000	2,700,000	0
	地域福祉活動協力金	166,000	166,000	160,000	0
	事業収入	300,000	350,000	280,000	-50,000
	雑収入	150,000	150,000	137,000	0
	小計 ③	3,316,000	3,366,000	3,277,000	-50,000
市委託金	200,000	0	0	200,000	
合計 ①	10,652,934	11,658,352	11,371,352	-1,005,418	

[支出合計]

事業集計	31年度予算額	30年度当初予算額	30年度補正予算額	比較
基礎事業	2,593,000	2,781,000	2,662,000	-188,000
協働事業	7,266,000	6,696,000	6,321,000	570,000
特別事業	600,000	1,300,000	1,318,000	-700,000
合計	10,459,000	10,777,000	10,301,000	-318,000
予備費	193,934	881,352	1,070,352	-687,418
総合計	10,652,934	11,658,352	11,371,352	-1,005,418

第4号議案

2019年度 役員の承認

※ 変更

会 長	坂井 諭一			
副会長	岡田 健二	横山 一衛	稲葉 多津子	下野 由美子
専門部長	瀧見 尚是	石田 正秀	宇都宮 昌江	加藤 智也
	大関 克豊	宮崎 知聡	前田 利博	
専門副部長	谷口 文章	北野 多喜子	下野 育代	小原 信二
	仮屋 進	酒井 和則	下野 由美子	
事務局次長 (専門部事務局)	永当 昭博	大西 藤夫	清水 智子	畠 広文
	恒本 納	小林 忠之	橋本 弥登志	
専門部会計	野口 千治	上野 ゆみ子	上杉 民子	奥田 美幸
	大西 嘉和	塚崎 絹子	中西 一治	
事務局長	橋本 弥登志			
副事務局長	前田 利博	酒井 和則		
会計責任者	中西 一治			
参 与	表 利右衛門			
監 事	奥野 宏樹	西田 さちこ		
顧 問	向嶋 衛			

しらやま振興会会則

(名称)

第1条 本会は、しらやま振興会（以下「本会」という。）という。

(事務所)

第2条 本会の事務所を白山公民館内に置く。
この事務所に事務局員を会長の指名により置くことができる。

(目的)

第3条 本会は、白山地区（以下「地区」という。）住民の相互信頼と協働により、あふれる自然を活かした明るく・住み良いまちづくりを推進する。

(事業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 振興計画の策定と推進に関する事業
- (2) 地域の振興と発展に寄与する事業
- (3) 地区内外の交流推進に関する事業
- (4) 自然環境保全に関する事業
- (5) 社会福祉推進に関する事業
- (6) 健康増進、スポーツ振興に関する事業
- (7) 文化、歴史に関する推進事業
- (8) 青少年健全育成に関する事業
- (9) 安全、防犯、防災に関する推進事業
- (10) 各事業の広報に関する事業
- (11) 社会教育講座に関する事業
- (12) その他、目的達成に必要な事業

(組織)

第5条 本会の会員は、地区住民及び本会の目的に賛同する地区内外の個人・各種団体および事業所とする。

2 本会は、年齢、性別、社会的地位を問わず誰もが自由に参加できる。

(役員)

第6条 本会に次の役員をおく。

会 長	1名
副会長	若干名
専門部長	7名
専門部副部長	7名
事務局長	1名
副事務局長	2名
事務局次長（専門部会事務局）	7名
会計責任者	1名
専門部会計	7名
参与	1名
監 事	2名

(役員を選出)

第7条 役員を選出は、男女同数を基本に、次のとおりとする。

- (1) 会長、副会長、事務局長、副事務局長、会計責任者、監事は、会員の中から運営委員会において選出し、総会の承認を受ける。
- (2) 会長は、複数の副会長の会長代理順位を定め、運営委員会の承認を得る。

- (3) 専門部長、副部長、事務局次長、各部会計は、専門部毎に互選し、総会の承認を受ける。
- (4) 事務局次長は専門部事務局をもってあてるものとする。
- (5) 参与は、地区公民館長をもってあてる。

(役員の責務)

第8条 役員は、次のとおりとする。

- (1) 会長は、本会を代表し会務を統括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し会長事故あるときはその職務を代行する。及び担当専門部の事業・計画等に参画する。
- (3) 事務局長、副事務局長、会計責任者、部会会計、専門部会計は、庶務会計の事務処理にあたる。
- (4) 専門部長、副部長は専門部を代表し、専門部を統括する。
- (5) 事務局次長は専門部の事務処理にあたる。
- (6) 監事は、会計、資産の状況及び事業の執行状況を監査し、総会に報告する。
- (7) 参与は、事業実施・計画策定に関する相談及び社会教育講座事業の指導監督を行う。

(役員任期)

第9条 役員任期は2年とし、再任を妨げない。役員の中で欠員が生じたときには、補欠役員の補充を行うことができる。ただし、任期は、前任者の残存期間とする。

(会議)

第10条 本会の会議は、総会、運営委員会、専門部会とする。

(総会)

第11条 総会は、各集落(別表1)、区長会、各種団体、事業所並びに公募による振興委員をもって構成する最高の議決機関であつてこの会則に定める事項のほか、この会の目的を達成するために必要な重要事項を決議する。

- 2 定期総会は、会長の招集により毎年1回以上開催する。
- 3 臨時総会は、会長が必要と認めたとき、または振興委員の3分の1以上の要求があつたとき、会長の招集により開催する。
- 4 総会は、委任状を認め、振興委員の2分の1以上の出席により成立し、その議事は出席者及び委任状を含めた過半数で議決する。賛否同数の場合は、議長が決するものとする。
- 5 総会は、次の事項を審議する。
 - ① 地域振興計画
 - ② 会則の改正
 - ③ 事業計画及び予算
 - ④ その他運営委員会で必要と認めた事項
- 6 総会には、次の役員をおく
議長1名 書記1名 議事録署名人2名
- 7 議長は、出席委員の中から会長が指名し、出席委員の承認により選出する。
- 8 書記、議事録署名人は、議長が指名する。ただし、議事録署名人は、出席委員の中から選出する。
- 9 議長は、総会の議事進行を行う。
- 10 書記は、総会の議事について、会議の運営状況、発言内容、議事の進行等を記載した議事録を作成し、議長及び議事録署名人2名の署名押印を得なければならない。なお、議事録は、事務局が保管する。

(振興委員)

第12条 振興委員は区長会、各集落、各種団体、事業所、公募より次のとおり選出し、本会に届出、各専門部に所属する。なお任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

- (1) 各集落の振興委員は別表1のとおりとする。
- (2) 各種団体の振興委員は2名以内（原則男女同数）とする。
- (3) 公募による振興委員は定数なしとする。
- (4) 各事業所の振興委員は各1名とする。

(運営委員会)

第13条 運営委員会は、会長、副会長、各専門部長、各専門副部長、事務局長、副事務局長、会計責任者、事務局次長、各専門部会計及び参与をもって構成し、会長が召集し次の事項を審議し、事業を実行する。監事は必要に応じ運営委員会に出席して意見を述べるができる。

- ①本会運営の基本事項
- ②地域振興計画
- ③総会に付議する事項
- ④緊急を要する重要事項
- ⑤ その他必要な事項

(専門部会)

第14条 専門部会は、区長会、各集落（別紙1）、各種団体、公募及び事業所より選出された振興委員をもって構成し、部員の互選により部長1名、副部長1名、事務局1名、会計1名を選出する（男女同数を基本とする）。

- 2 専門部会は、部長が招集し、事業の企画、調整、運営実行を行う。
- 3 専門部会は、次の部とし、その主たる事業は次のとおりとする。

- ① ふるさとふれあい部
地区内の交流推進に関する事業
文化、歴史に関する推進事業
- ② 自然環境部
自然環境保全に関する事業
- ③ 福祉健康部
社会福祉推進、健康増進、スポーツ振興に関する事業
- ④ しらやまっこ育成部
青少年の健全育成に関する事業
- ⑤ 安全防災部
安全、防犯、防災に関する事業
- ⑥ 広報部
広報等に関する事業
広く地区民等から意見を聞く事業
- ⑦ 施設運営部
越前市公の施設に係る指定管理に関する事業

- 4 専門部の事務、会計は各部が本会の事務局と連携を図り行うものとする。

(会計)

第15条 本会の経費は、交付金、助成金、寄付金及びその他の収入をもってあてる。

- 2 本会の経費は、総会で議決された予算の範囲内において、運営委員会の承認により、用途の変更及び流用をすることができる。
- 3 本会の会計年度は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

- 4 既定の予算に追加その他の変更を加える必要が生じたときは、運営委員会の承認により、補正予算の調整をするものとする。

(情報等の公開広報)

- 第16条 本会の会議等は、公開を原則とし、事業計画、予算決算についても、地区住民に広く周知するものとする。
- 2 会員はいつでも本会の会計・帳簿及び議事録等の閲覧を申請することができる。
 - 3 前項の規定による閲覧申請があった場合は、会長は遅滞なくこれを許可し、関係者立会いの上、閲覧させなければならない。

(顧問)

- 第17条 本会に顧問を置くことができる。顧問は運営委員会において選出し、会長が委嘱する。委嘱期間は1年とする。

(その他)

- 第18条 この会則に定めるもののほか、必要な事項は会長が総会に諮り別に定める。
- 2 この会則を補完し運営を円滑にするために、細則を運営委員会に諮り別に定めることができる。
 - 3 区長は各集落において区長が行う業務、行政協力業務、その他必要業務を行うものとする。
 - 4 区長会は行政協力協定の締結に関する事項を会長に一任する。

- 附則
- 1 この会則は、平成16年 2月28日より施行する。
 - 2 この会則の規定にかかわらず、役員、振興委員の任期等は平成16年度から適用とする。
 - 3 平成15年度の会計年度はこの会則の実施の施行する日から、平成16年3月31日までとする。
 - 4 平成16年4月29日に一部会則の改正（第6条・第7条・第8条・第14条）
 - 5 平成18年4月22日に一部会則の改正（第6条・第7条・第8条・第14条）
 - 6 平成20年4月19日に一部会則の改正（第4条・第6条・第14条）
 - 7 平成21年4月18日に一部会則の改正（第6条・第7条）
 - 8 平成22年4月17日に一部会則の改正（第6条・第14条）
 - 9 平成24年4月21日に一部会則の改正（第4条・第6条・第7条・第8条・第12条・第14条）
 - 10 平成25年4月20日に一部会則の改正（第17条）
 - 11 平成26年4月19日に一部会則の改正（第6条・第14条）
 - 12 平成27年4月25日に一部会則の改正（第6条・第12条・第14条）
 - 13 平成28年4月23日に一部会則の改正（第6条・第14条・第15条・18条）

別 表 1

各集落振興委員数（区長以外）

世帯数	振興委員数	備 考
10戸未満	2名以内	2名の場合は男女各1名
10戸以上～40戸未満	2名（男女各1名）	
40戸以上～80戸未満	4名（男女各2名）	
80戸以上	6名（男女各3名）	

平成30・31年度振興委員及び各部構成

(敬称略)

ふるさとふれあい部

1	瀧見 尚是	公募	部長
2	谷口 文章	公募	副部長
3	永当 昭博	体協	事務局
4	野口 千治	曾原町	会計
5	恒本 浩市	都辺・上杉本町区長	
6	黒田 慎一	土山・小谷町区長	
7	宇都宮 末己	安戸町区長	
8	柳下 憲一	菅町区長	
9	上出 修	沓掛町区長	
10	寺尾 忠保	小野町区長	
11	奥野 宏樹	上黒川町区長	
12	岡田 健二	下黒川町区長	
13	田邊 光生	鴉ヶ平町区長	
14	中井 清春	粟野町区長	
15	田中 隆至	金華山G	
16	南出 隆司	壮年G	
17	嶋田 雅彦	商工会	
18	上杉 徹	スポーツ文化クラブ	
19	恒本 明勇	都辺町	
20	辻 充宏	都辺町	
21	前川 功次	菖蒲谷町	

自然環境部

1	石田 正秀	中野町	部長
2	北野 多喜子	公募	副部長
3	大西 藤夫	前丸岡町区長	事務局
4	上野 ゆみ子	安養寺町	会計
5	大村 直美	さぎ草	
6	夏梅 敏明	水辺の会	
7	上野 和美	水辺の会	
8	礮部 朝美	商工会	
9	恒本 錦一	都辺町	
10	小林 一男	千合谷町	
11	北野 範子	米口町	
12	服部 秀一	沓掛町	
13	水野 一雄	鴉ヶ平町	
14	小山 博美	安養寺町	
15	小林 葉子	安養寺町	
16	小林 善夫	小杉町	
17			

福祉健康部

1	宇都宮 昌江	安戸町	部長
2	下野 育代	下黒川町	副部長
3	清水 智子	公募	事務局
4	上杉 民子	公募	会計
5	奥山 幸子	日赤	
6	加藤 由美子	食改	
7	上野 洋子	食改	
8	向嶋 幸子	老人クラブ	
9	稲葉 多津子	運動普及推進員	
10	山下 裕巳	サポート白山	
11	恒本 ひとみ	サポート白山	
12	北野 実男	民生委員	
13	奥田 博一	民生委員	
14	門林 充子	民生委員	
15	嶋崎 和子	民生委員	
16	辻 富美子	民生委員	
17	佐内 孝美	二階堂町区長	
18	大西 陽子	丸岡町	
19	水野 美津子	鴉ヶ平町	
20	辻 文子	小杉町	
21	坂田 めぐみ	菖蒲谷町	
22	南谷 芳行	下黒川町	
23	谷口 修子	牧町	
24	砂畑 久美子	公募	

しらやまっこ育成部

1	加藤 智也	公募	部長
2	小原 信二	米口町・子ども会	副部長
3	畠 広文	上黒川町	事務局
4	奥田 美幸	公募	会計
5	堀江 和佳奈	学童クラブ	
6	上田 拓也	こども園	
7	増山 俊吾	こども園	
8	小原 治彦	白山小PTA	
9	林 美保子	白山小PTA	
10	小山 裕昌	五中PTA	
11	辻 みはる	五中PTA	
12	笹木 貴久子	子供会	
13	加藤 眞美	中野町	
14	平林 尚代	サッカー	
15	棗 円香	バドミントン	
16	奥山 実男	上黒川町	
17	弥氏 ひろみ	堀町	
18	生田 健一	公募	

安全防災部

1	大関 克豊	公募	部長
2	仮屋 進	防犯隊	副部長
3	恒本 納	都辺上杉本町	事務局
4	大西 嘉和	丸岡町	会計
5	南出 敏昭	菖蒲谷町区長	
6	小原 正美	米口仏谷町区長	
7	堀江 高行	曾原町区長	
8	新谷 泰造	中野町区長	
9	黒田 雅人	公募	
10	服部 美喜夫	公募	
11	辻 龍雄	金華山G	
12	上野 孝史	防犯隊	
13	大門 淳一	交通安全協会	
14	谷口 芳恵	千合谷町	
15	竹内 明美	二階堂町	
16	河合 雅喜	堀町区長・堀町	
17	服部 久美子	萩原町	

会長	坂井 諭一	千合谷町区長
副会長	岡田 健二	下黒川町区長
副会長	横山 一衛	安養寺町区長
副会長	稲葉 多津子	公募
副会長	下野 由美子	公募

参与	表 利右衛門	公民館長
----	--------	------

顧問	向嶋 衛	前会長
----	------	-----

広報部

1	宮崎 知聡	二階堂町	部長
2	酒井 和則	小杉町区長	副部長
3	小林 忠之	公募	事務局
4	塚崎 絹子	沓掛町	会計
5	坂下 在良	前安養寺町区長	
6	谷口 正治	曾原町	
7	坂田 秀毅	水の里	
8	石川 優也	公募	
9	前田 利隆	体協	

施設運営部

1	前田 利博	公募	部長
2	下野 由美子	公募	
3	橋本 弥登志	公募	
4	中西 一治	公募	
5	名田 淳賢	老人クラブ	
6	森 和恵	水の里	
7	恒本 邦夫	都辺町	
8	川端 哲夫	安養寺町	
9	西畑 敏博	安養寺町	
10	横山 一衛	安養寺町区長	

事務局

1	橋本 弥登志	公募	事務局長
2	前田 利博	公募	副事務局長
3	酒井 和則	区長会事務局	副事務局長
4	中西 一治	公募	会計責任者

監事

1	奥野 宏樹	上黒川町区長
2	西田 さちこ	公募